

社会的事象の見方・考え方を働かせて 学習問題を協働的に追究する社会科学習

～主体的に学習に取り組む態度の育成方法と
学習評価の工夫を通して～



社会的事象の見方・考え方を働かせて 学習問題を協働的に追究する社会科学習

～主体的に学習に取り組む態度の育成方法と
学習評価の工夫を通して～

- ①社会的事象の見方・考え方を働かせることができる
教材開発の工夫
- ②児童の学びを深める問題解決的な学習過程と
「問い」の構成の工夫
- ③学習問題を学級で追究して学びを深める
協働的な学習活動の工夫
- ④**主体的に学習に取り組む態度の育成方法**
と**学習の評価方法の工夫**

社会的事象の見方・考え方を働かせて 学習問題を協働的に追究する社会科学習

令和元年度の研究実践 新教材の開発

- ① 3年「地域に見られる販売の仕事」
- ② 3年「新宿区の移り変わり」
- ③ 4年「自然災害から人々を守る活動」
- ④ 4年「東京都内の特色ある地域の様子
(国際交流がさかんな地域)」
- ⑤ 5年「情報を活用して発展する販売業」
- ⑥ 6年「戦争のころの暮らしと戦後の新しい日本」
- ⑦ 6年「我が国の政治の働き」

社会的事象の見方・考え方を働かせて 学習問題を協働的に追究する社会科学習

令和2年度の研究実践 新教材の開発

- ① 3年「新宿区の様子～干布小に伝えよう～」
- ② 3年「地域の生産の仕事～染物工場～」
- ③ 4年「東京都の様子～都道府県プログラミング～」
- ④ 4年「ごみの処理～清掃工場のない新宿区のごみ～」
- ⑤ 4年「東京の伝統や文化～須賀神社の祭り～」
- ⑥ 5年「稲作の盛んな地域～JA天童との交流～」
- ⑦ 5年「これからの食糧生産～食糧サミット～」
- ⑧ 6年「国づくりの歩み～四谷にも残る縄文の遺産～」
- ⑨ 6年「貴族の文化～文化の特色を考えよう～」

①社会的事象の見方・考え方を働かせることができる

教材開発の工夫

教材開発・教材分析をするポイント

①何を理解できればよいのか？

→具体的知識＋概念的知識

②働かせる見方・考え方は何か？

→着目する視点＋考える方法

③どのような「問い」が必要か？

→見方・考え方が働く「問い」

④どのような資料が必要か？

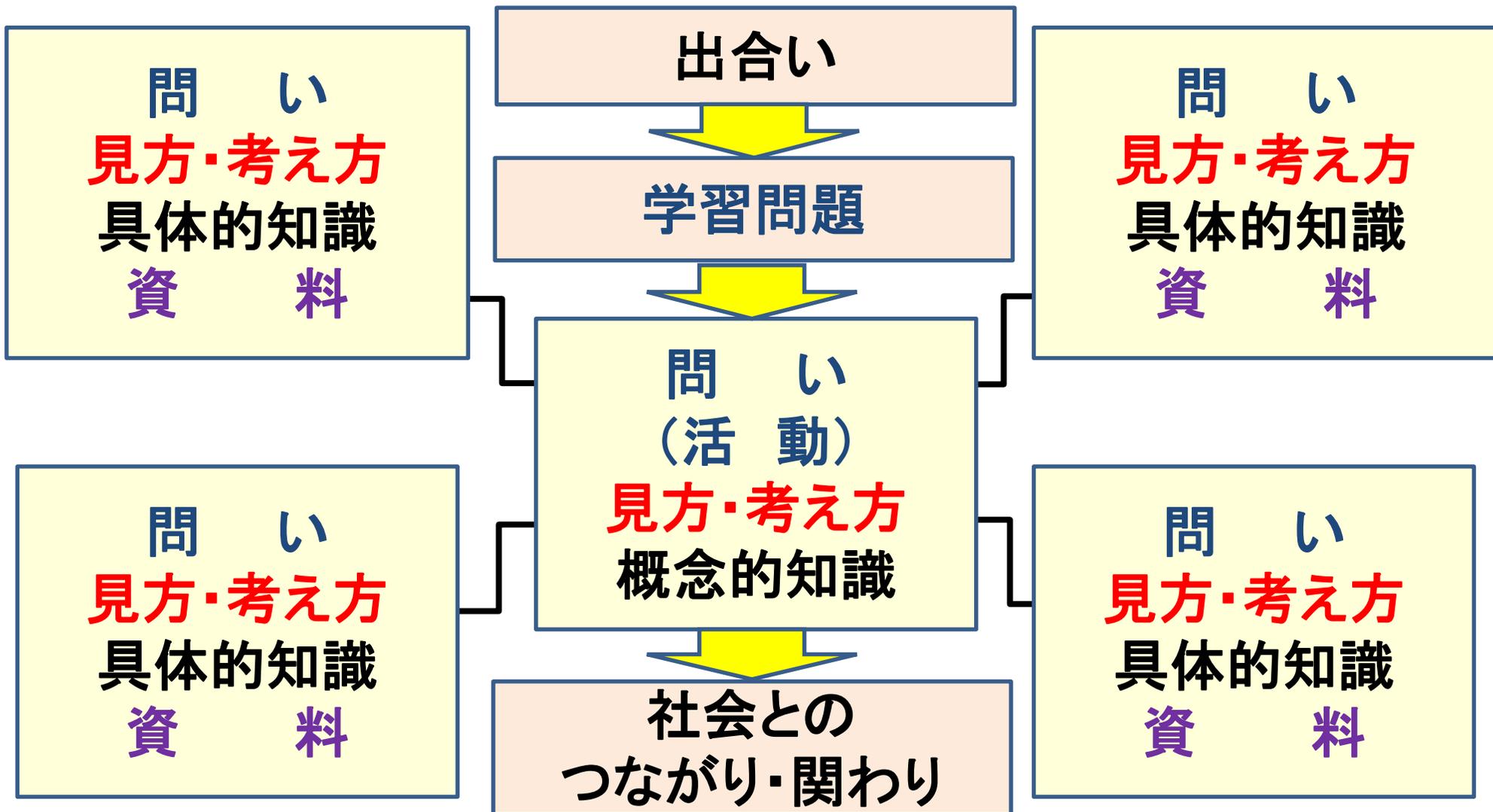
→①～③を踏まえた資料

⑤社会との「出会い」「つながり」をどう意識させるか？

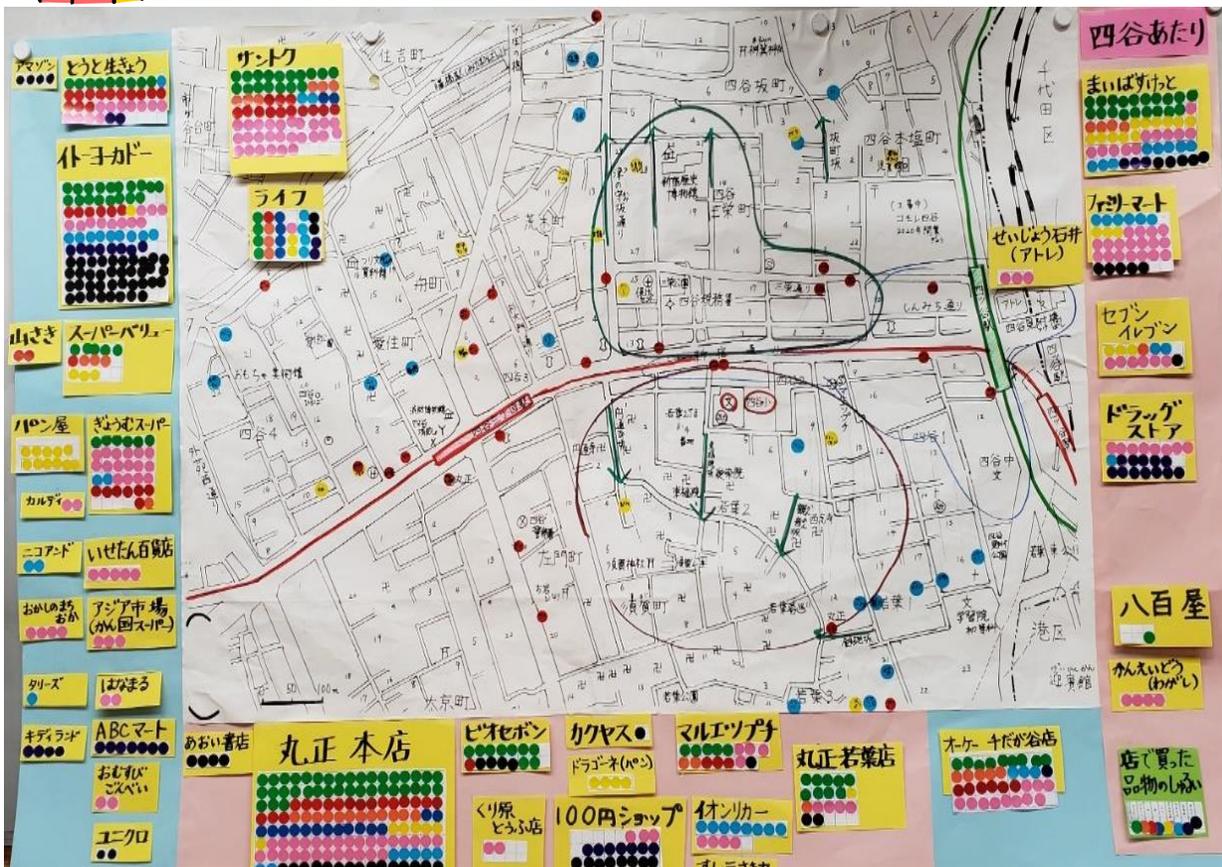
教材開発の工夫

指導内容の構造

★知識、**見方・考え方**、**問い**、**資料**から指導内容を分析する



問い:「わたしたちは、どこで
どのようなものを買っているのだろう。」



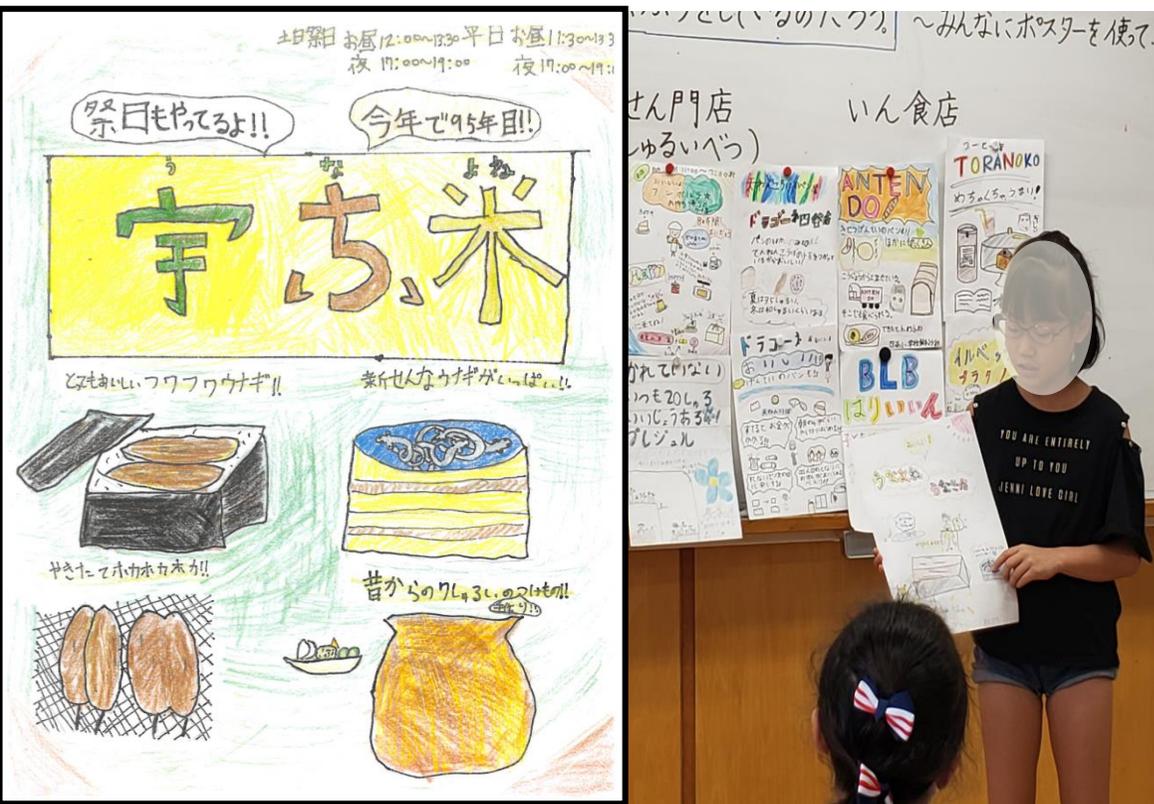
【見方・考え方】
商店の**分布**に着目

四谷には、いろいろな種類のお店があちこちにある。**新宿通りぞい**にスーパーなど**お店が多く**、駅の近くでは**食べ物を売る店が多くある**ことが分かった。

視点が働きやすい資料を選択・加工することが有効

問い:「お店のよさを

どのようにつたえるとよいのだろう。」



【見方・考え方】

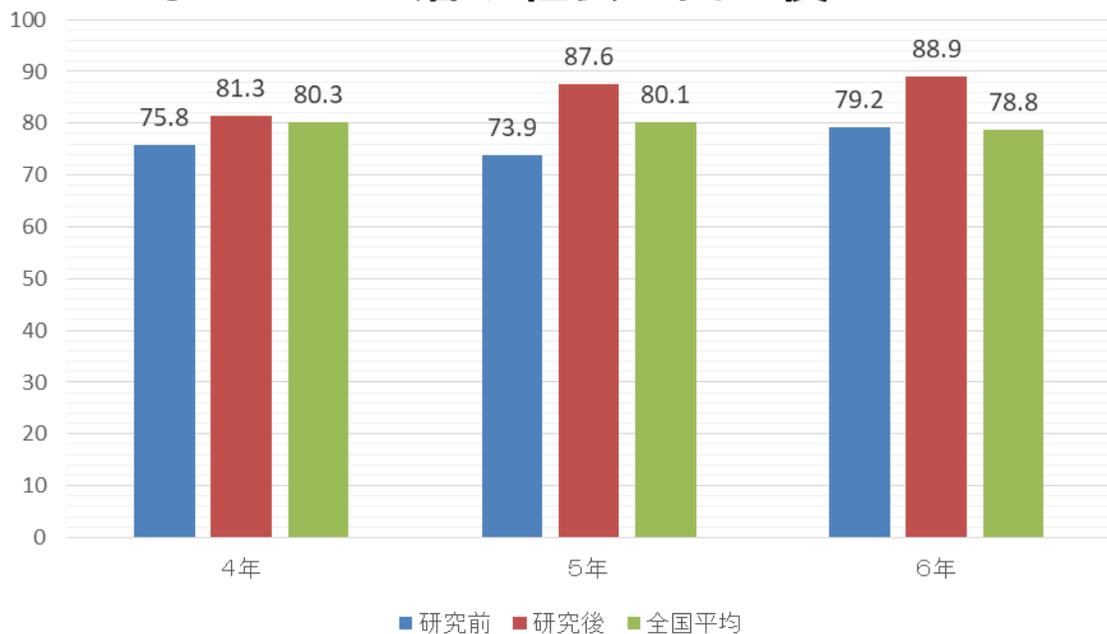
店の工夫やよさを総合して考え、ポスターに表現して

みんなで調べたら知らないお店がたくさんあった。どの店にもそれぞれの人気のひみつがあったから、今度行ってみたい。こんなにお店のある四谷ってすごいところだなと思いました。

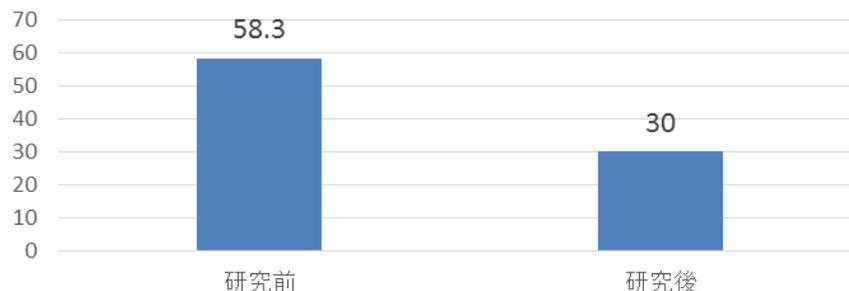
ポスター作成を通して地域とつながる

児童アンケートの分析

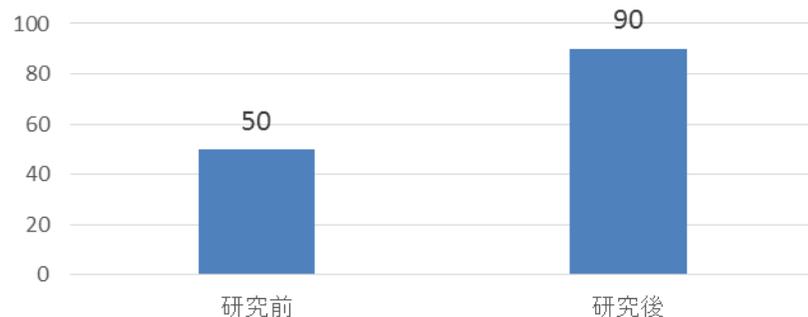
社会科の学習をすれば、
ふだんの生活や社会に出て役に立つ



社会科は教材研究しやすい



見方・考え方を
働かせた授業をしている



全国平均を上回り、研究実践前から向上。児童は社会的事象の意味を捉えている。

見方・考え方を働かせる授業をするようになる一方、社会科の教材研究の難しさが分かってきた。

「指導内容の構造」の様式の開発・活用を通して



- 学習指導要領の内容を適切に授業構想に反映
- 教材研究がシャープになり、
資料の選択・焦点化・加工ができた。
- 新単元の教科書教材以外の開発が難しかった。

視点・問い・知識・資料から指導内容を明確にした教材研究をして授業構想を立てることが重要

②児童の学びを深める問題解決的な学習過程と

「問い」の構成の工夫

学習問題を中心に問いを構成するポイント

①問いの役割を明確に

- ・学習問題を把握することにつながる問い
- ・事実を追究し捉える問い
- ・特色や意味を考える問い
- ・社会との関わりを考える問い

②何に着目して調べるのか？

③どのような考え方が働くのか？

④問いがどうつながるのか？

問いの構成の工夫

第4学年「ごみはどこへ」 の問いの構成

<p>学習問題を把握する問い</p>	<p>学校や家では、どのくらいのごみが出されているのだろう。 【ごみの量・ごみの分別】 ごみはどうなるのだろう。</p>	<p>ごみの量 の変化・ 分別</p>
<p>単元の学習問題</p> <p>↓</p> <p>事実を追究し捉える問い</p>	<p>私たちが出したごみは、だれがどのようにして処理しているのだろう。</p> <p>ごみの収集はどのように行われているのだろう。 【ごみの収集のきまりや工夫】 燃やすごみはどのように処理されるのだろう。 【処理の仕組み】 【都内外の協力関係】 燃やさないごみや粗大ごみはどのように処理されるのだろう。 【処理の仕組み】 【都内外の協力関係】 資源はどのように再利用されるのだろう。 【再利用の仕組み】 うめ立て処分場ではどのようにごみを処理しているのだろう。 【処理の仕組み】 【都内外の協力関係】 ごみ処理の仕方はどのように変わってきたのだろう。 【衛生的な処理】</p>	<p>ごみ処理 の仕組 みを中心 に追究</p>
<p>特色や意味を考える問い</p>	<p>どうしてこんなにたくさんの人でごみの処理をしているのだろう。 【関連付け】</p>	<p>ごみ処理 の変化と 関わる人 々を中心 に追究</p>
<p>社会とのつながりや関わりを考える問い</p>	<p>地域では、ごみを減らすためにどのようなことに取り組んでいるのだろう。 ごみを減らすために、私たちはどのようなことに協力していくとよいのだろう。 【選択・判断】</p>	<p>ごみ減量 を考える</p>

問いの構成の工夫

事実を追究する問い

「ごみの処理の仕方の今と昔をくらべてみましょう。」



【変化や改善に着目】

問い:「ごみの処理の仕方はどのように変わってきたのだろう。」



問いの
追究を支
える発問
と資料

ごみは、たくさんの人たちの協力で、**だんだん安全に衛生的に処理される**ようになった。**だから、今は健康に安全に暮らすことができる**と分かった。

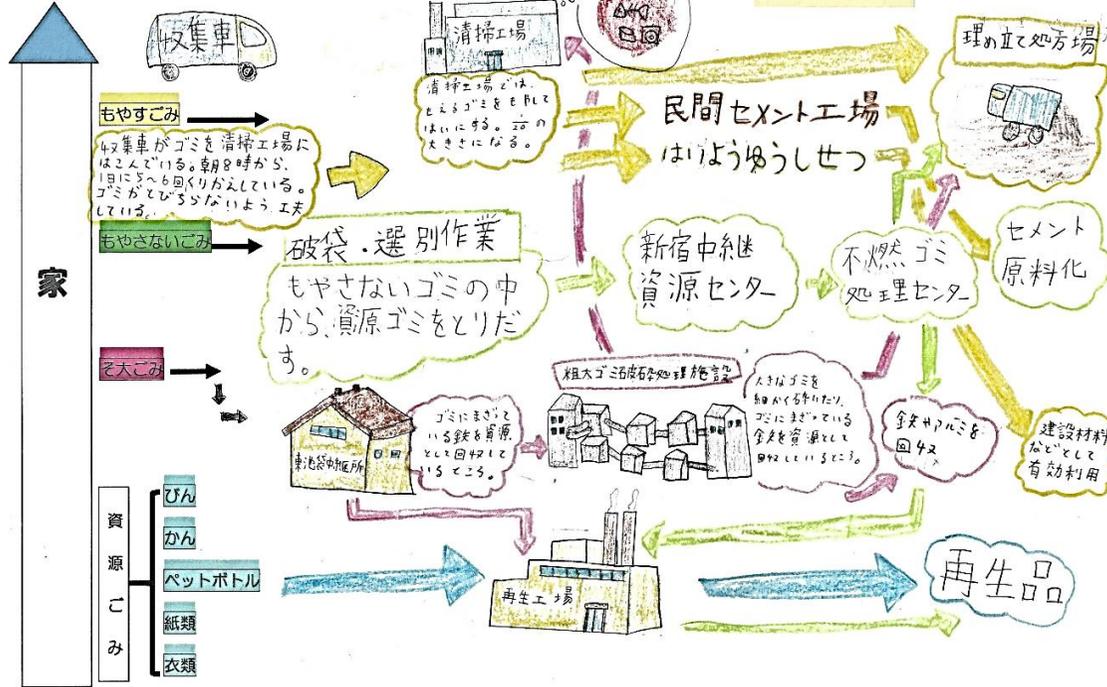
問いの構成の工夫

特色や意味を考える問い

学習問題について調べたことを関係図にまとめる。



ごみのゆくえ流れ図



問い
「どうしてこんなにたくさん
の人でごみの処理
をしているのだろう。」

【様々な人の働きを
関連付けて考えて】

まとめでは意味を
考える教師の問
いかけが必要



清掃工場のない新宿区は他の区と協力し
てごみを燃やしていた。私たちの健康と安
全を守るために、区をこえて大勢の人たち
が協力して計画的にごみを処理している。

問いの構成の工夫

関わり方を考える問い



問い:「ごみを減らすために私たちはどのようなことに協力していけばよいのだろう。」

誰かと一緒に

すぐに

時間をかけて

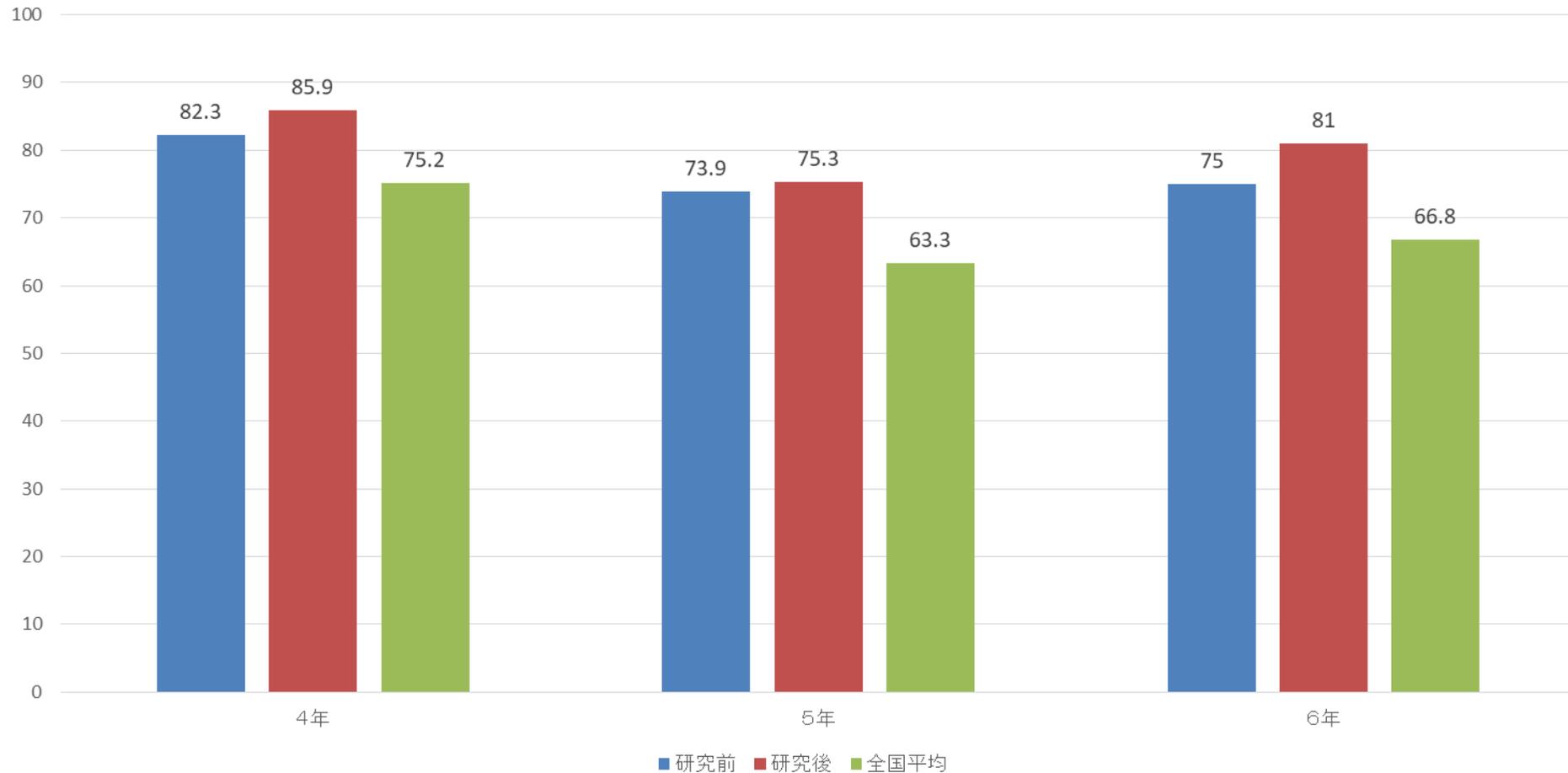
1人でも

「問い」について意見交換して
【持続可能性や協力関係に
着目して】
【比較して考え選択して】

清掃事務所の方が言っていたように分別を家族に伝えて続ける。花いっぱい運動でポスターを作って、ごみを捨てないようにまちの人に呼びかける。

立場を明確にでき、学んだことを活用できるツールが有効

問題を決めてその解決のために調べたり、考えたりすることが好きだ。



全国平均を上回り、研究実践前から最大6ポイント向上

問題解決に即した**問いの構成**の作成を通して



- 問いの役割を意識すると資料や活動が明確に。
- 問いの追究には適切な資料や発問が不可欠。
- 教師の一方的な発問で終わることがあった。
- 発展の構想や選択・判断する学習の難しさ。

主体的な学びの実現に向け児童の
思考の流れに即して問いの連続性を
図ることが重要

③学習問題を学級で追究して学びを深める

協働的な学習活動の工夫

協働的な学習活動のポイント

① 自分の考えをもって話し合う

② 実社会の人と対話的に学ぶ

- ・見学したり体験したりする
- ・教室で直接的に話を聞いたり質問したりする
- ・間接的な方法で話を聞いたり質問したりする
- ・学んだことや考えたことを伝える

③ ICTを活用して人とつながる

協働的な学習の工夫

自分の考えをもち話し合う

6年「我が国の歴史・貴族の文化」

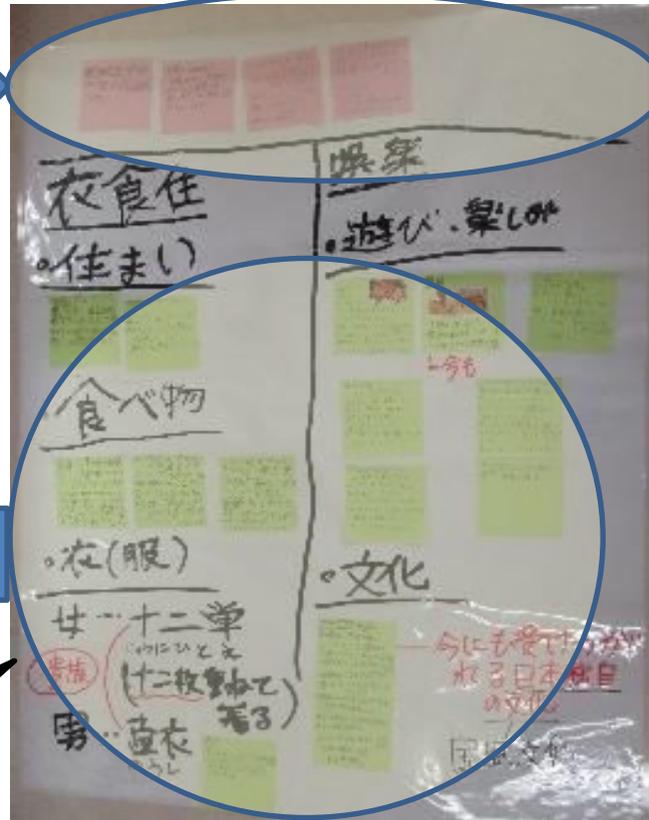
問い: 貴族の文化はどのような文化なのだろう？

自分の考えと理由を説明し合う

自分の考え
「ごらくなどで楽しんだ文化」
理由は、貴族は仕事以外にも遊びを楽しむくらしをしていたから。

今の時代にもつながる衣食住とごらくを選択

自分の考えを見える化して伝え合う方法



納得し合う

グループの結論
「日本風のゆうがな文化」なぜなら今にも伝わる遊びや服装などがはなやかだから。

協働的な学習の工夫

実社会の人と共に学ぶ

4年「水害から地域を守る」

問い: 神田川の水害に対し新宿区はどのようなことをしているのだろうか?



危機管理課の方に質問して、区や東京都の水害への対策や備えを聞き取り

役所の人に聞いて良かった。私たちが家にいるときも役所の人や文京区や消防団の人たちは協力して水害を防いでいたなんてぜんぜん知らなかった。

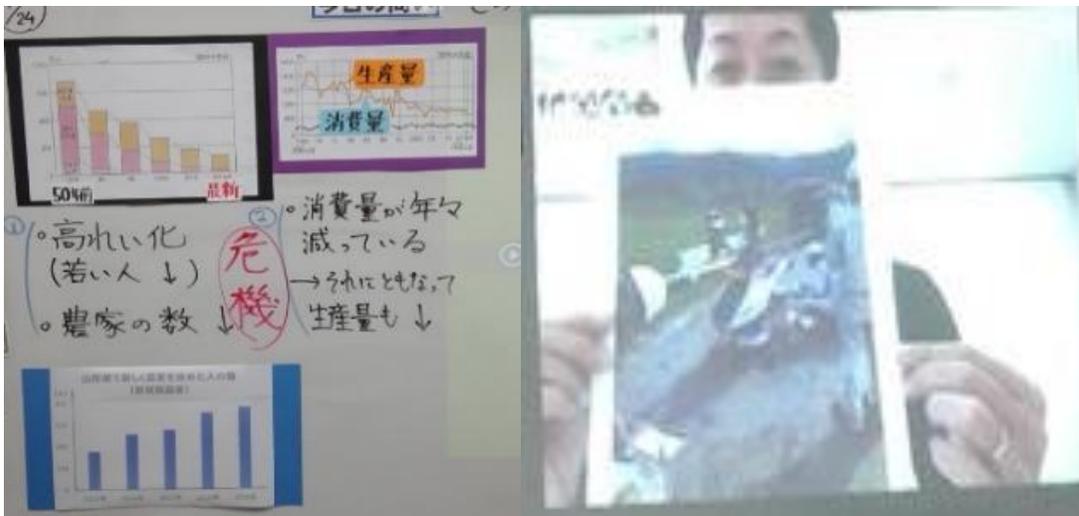
実社会の人に自ら聞いて学ぶことは、児童の学びを主体的にし、人々の営みを共感的に理解することができる。

協働的な学習の工夫

ICTを活用してつながる

JA天童の方にオンラインで
児童が質問する

食糧生産サミットで
プレゼンで提案する



天童市の米作りでは、最新の
機械「農業専用ドローン」を使
って、高齢者の負担を減らし
て生産者を増やしていた。

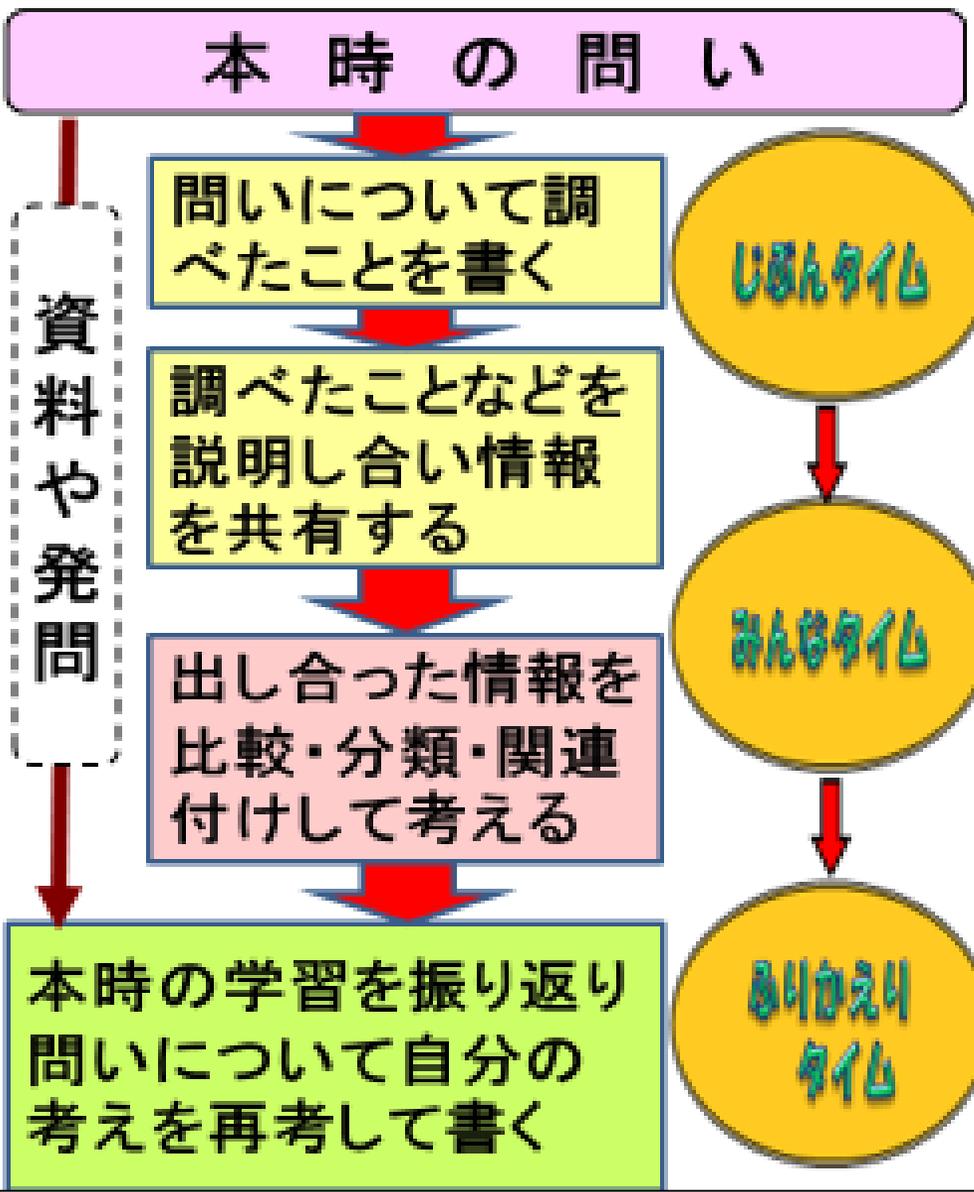


「えさ寄せ」のロボは、えさ寄
せ作業が終わると自動で充
電器まで戻るすぐれもの。人
手不足の課題を補っている。

ICTはコロナ禍の中でも人とつながる学びを可能にする

協働的な学習の工夫

協働的な学習活動を位置付けた授業構成



「自分発」
既習の知識を活用して予想したり、資料から読み取って分かったことをもとに自分の考えをもつ。

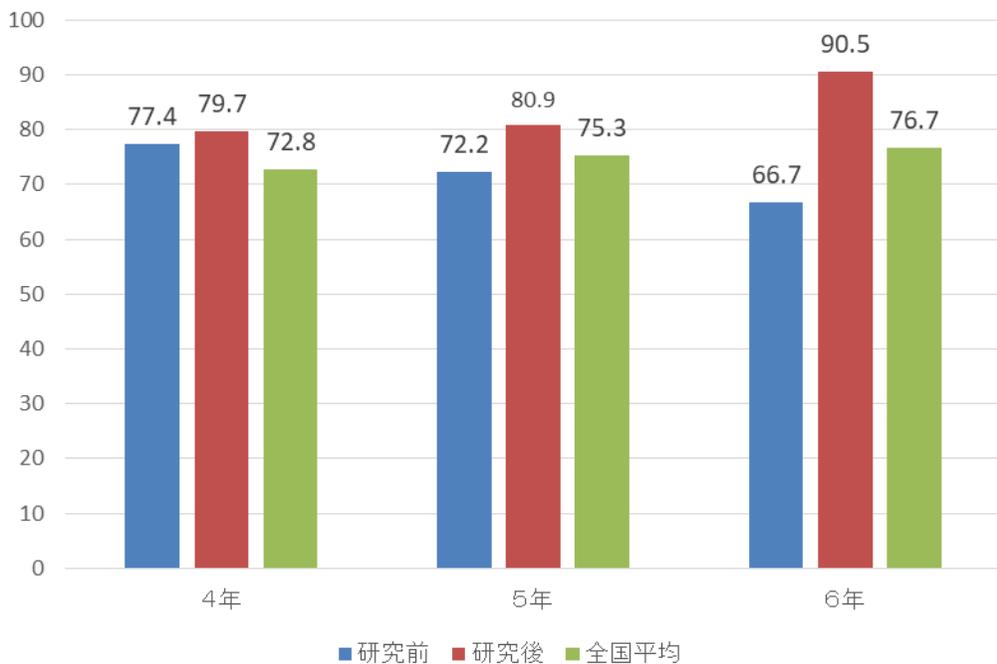
「みんな経由」
お互いの考えを根拠に基づいて説明し合い、比較・関連付けて共通性や相違性を確かめ、学習問題や問いに対する結論を話し合う。

「自分行き」
話し合いに基づいて、最初の考えを見直し、学習問題や問いの結論を自分の言葉でまとめる。

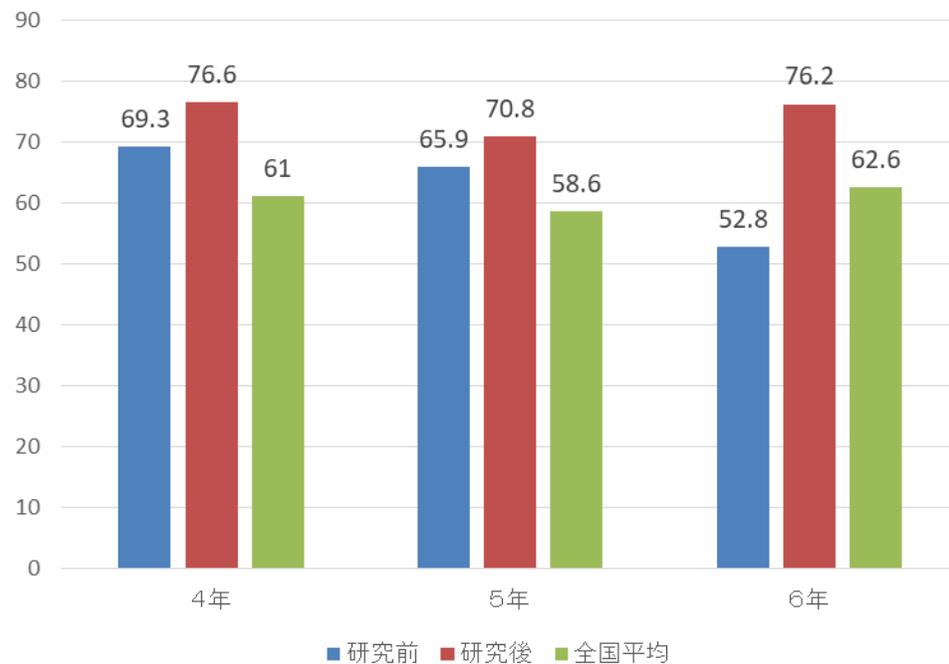
協働的な学習の工夫

児童アンケートの分析

意見に対して、
意見をもつことができる



自分の考えを資料などを使
って説明することができる



全国平均を上回り、研究実践前から最大24ポイント向上

協働的な学習の手立ての授業実践を通して

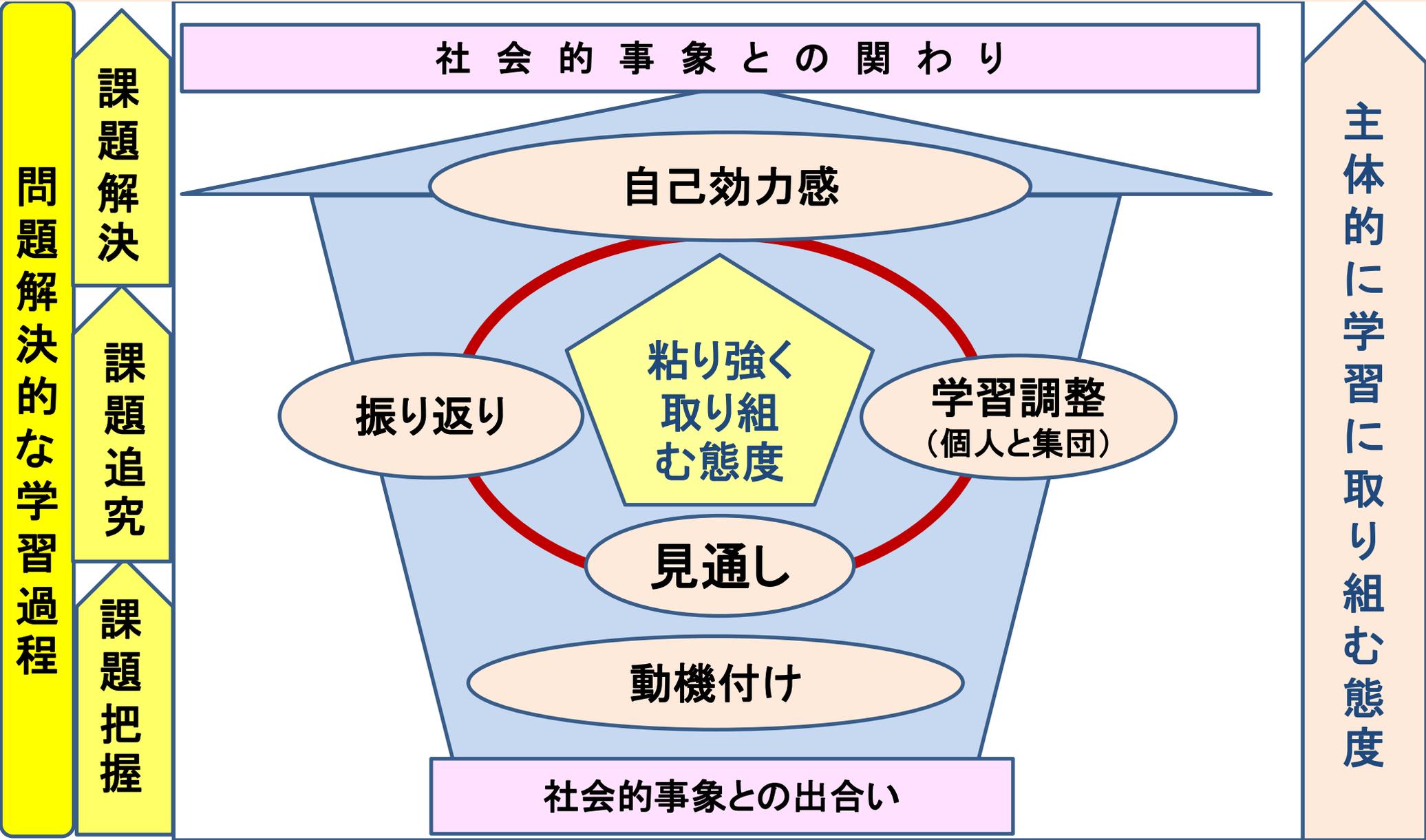


- 学び合い充実に「みんなタイム」は有効。
- 実社会の人と対話的に学ぶことは効果的。
- コロナ禍においてICTが重要な役割。
- 時間や方法が足りず形式的な話し合いに。

目標の実現に向け、児童の考えを深めたり広げたりできる適切な学習活動を意図的に設定することが重要

④主体的に学習に取り組む態度の育成方法と

学習の評価方法の工夫



④主体的に学習に取り組む態度の育成方法と 学習の評価方法の工夫

主体的に学習に取り組む態度の 育成方法と評価のポイント

- ①問題解決的な学び方を自覚するための
「学び方カード」の活用
- ②問題解決の段階ごとに振り返りの時間を
設定して次の段階へ
- ③各単元ごとの振り返りを積み上げていくこ
とで態度が育成

主体的に学習に取り 組む態度の育成方法

発達段階に応じた 「学び方カード」を作成・活用

社会科 学び方カード

単元名 (

)

6年 組 番 (

身に付けたい学び方	
○できた・もうちょっとできそう ◎もっとできるようになった△うまくできなかった	
つかむ	気付いたことや疑問・知りたいことを考えられた。
	気付いたことや疑問・知りたいことを話し合っ、みんな で学習問題をつくった。
	予想をもとに学習計画を立て、これから調べる見通しが もてた。
調べる	学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせ て調べた。 いくつかの資料を使うなどして、ねばり強く調べた。
	資料からキーワードを見つけることができた。 人・出来事の関係、変化が分かるようにノートに書いた。
	調べ方や調べたことを友だちと話し合い、確かめ合うこ とができた。
まよる・さがる	キーワードを確かめたり、図や表に表したりして分かっ たことを整理できた。
	キーワードや「つまり」「例えば」などの言葉をうまく使っ たり、いろいろな立場で考えたりして、学習問題に対する 自分の考えが書けた。
	次の学習や自分の生活に生かせそうなことを見つけた。 学習したことを生かしていきたいと思えた。

見通し

- ①学習問題の設定
- ②学習計画の立案

学習調整

- ③個人の学習調整
- ④集団の学習調整

振り返り

- ⑤追究結果の評価
- ⑥学んだ過程の評価

【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。】単元を通して自分がとくにがんばったこと

自己効力感

主体的に学習に取り 組む態度の育成方法

6年「国づくりへの歩み」 学び方カードの記述の実際

社会科 学び方カード 単元名 (大昔の人々の暮らし) 6年

	身に付けたい学び方 ○できた・もちょうとできそう ◎もっとできるようになった△うまくできなかった	振り返ろう・いかそう
つかむ	気付いたことや疑問・知りたいことを考えられた。	<input type="radio"/>
	気付いたことや疑問・知りたいことを話し合っ、みんなで学習問題をつくった。	<input type="radio"/>
	予想をもとに学習計画を立て、これから調べる見通しがもてた。	<input type="radio"/>
調べる	学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせて調べた。	<input checked="" type="radio"/>
	いくつかの資料を使うなどして、ねばり強く調べた。	<input checked="" type="radio"/>
	資料からキーワードを見つけることができた。人・出来事の関係、変化が分かるようにノートに書いた。	<input checked="" type="radio"/>
まとめる・いかす	調べ方や調べたことを友達と話し合い、確かめ合うことができた。	<input type="radio"/>
	キーワードを確かめたり、図や表に表したりして分かったことを整理できた。	<input checked="" type="radio"/>
	キーワードや「つまり」「例えば」などの言葉をうまく使ったり、いろいろな立場で考えたりして、学習問題に対する自分の考えが書けた。	<input type="radio"/>
	次の学習や自分の生活に生かせそうなことを見つけた。学習したことを生かしていきたいと思えた。	<input checked="" type="radio"/>

【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。】単元を通して自分がとくにがんばったこと・できるようになったこと・学んでよかったこと・役に立つと思ったこと

今自分なりに、その土地の遺跡を考えたのはとてもいいことだと思います。だから、これからは四谷での、うつりがわりや、いつから中心が東になったのか、考えていきたい。

学び方の自覚



調べ活動にすすむ前に
自分の学習の進め方を振り返ろう。これからの学習のすすめ方を考えてみよう。

まとめ活動にすすむ前に
自分の学習の進め方を振り返ろう。もっと調べる必要があることはないか考えてみよう。

まとめが終わったら
自分のまとめ方を振り返ろう。さらに考えていくべきことがないか考えてみよう。

<単元終了後>

その土地の遺跡を考えるのはとてもよい。だからこれからは四谷の移り変わりやいつから中心が東京になったのかを考えていきたい。

<つかむ>
二つの時代の共通点や違う点を考えたい。

<調べる>
家で調べた後に学校で付け足すことができたのでよかった。

<まとめる>
大切に保管し未来の人が調べられるのはすばらしい。心に残った。

見通し → 調べ直し → 振り返り → 学習の価値付け

問題解決の学習段階ごとに振り返りを行うことで学び方を自覚できた。

主体的に学習に取り組む態度の育成方法

生活科2年「まちたんけん」 ふりかえりカードの記述の実際

「やってみていたことが見つかった」

「かながえたりくふうしたりできた」 「さいごまですすんでとりこんだ」



★ふりかえり(きづいたこと・やってみていたこと・しりたいこと)

いはいすてきが見つかったので、こんどは人のすてきをいっばい見つけたいです。人のすてきをいっばい見つけたいです。おうちの人と一緒に行きたいです。おうちの人と一緒に行きたいです。すてきがいっばい見つけたいです。

11月17日(火) 名前

振り返りの観点

- ① やってみたいこと
- ② 考えたり工夫したりすること
- ③ 最後まで取り組むこと

<願い>
こんどは人のすてきをいっばい見えてみたい。

<活動>
グループで見学先を選択し、たんけんに行く。

<ふりかえり>
学校の給食でも〇〇さんのとうふを使ってる。それを朝4時から作るんだ。

願い→活動→振り返り→気づき→願いの活動サイクル

主体的に学習に取り 組む態度の育成方法

児童の学び方の分析 (記述例一覧表の作成)

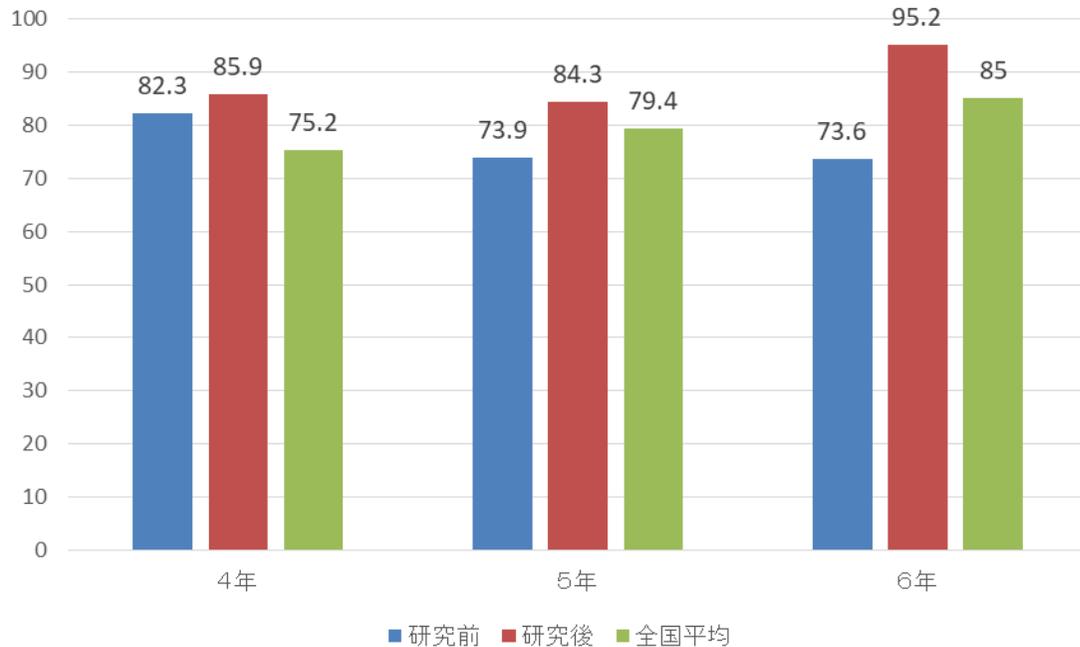
	低学年 ²	中学年 ²	高学年 ²
であう、	<p>◎活動や体験を通して、思いや願いをもてた。 例)・ふしぎ、おもしろいを見つげられた。 ・ドキドキ、ワクワクした。 ・もっと〇〇したい。 ・おもちゃ美術館のおもちゃを見ると、やる気や気合いが入った。早くおもちゃを作りたい。 ・パン屋のみなさんのおかげでパンが好きになった。それが「すてき」だと思った。</p>	<p>? (はてな)を見つけて、みんなで話し合って学習問題をつくることができました。 予そをたてたり、学習計画をたてたりすることができた。 ・はてなを見付けて話し合って学習問題を見付けるのは難しかったけど、予想するのは簡単にはできた。 ・火事の原因が分かったので、次はどうかすれば火事が減るのか知りたい。学習計画通りに進めたい。 ・地震の対策について知りたいことを見付け、学習計画を立てたりできた。みんなともしっかり話し合えた。</p>	<p>気付いたことや疑問・調べたいことを考えられた。 気付いたことや疑問を話し合っ、みんなで学習問題をつかった。 予想をもとに学習計画を立てて、これから調べる見通しがもてた。 ・貴族の暮らし方をなんとなく予想することができた。次はそのなんとなくのところを調べたい。 ・調べる見通しがもてた。慶喜が政権を朝廷に返したのは何が理由があったと思う。 ・他の人の予想や見通し、疑問を聞いて、明治の新しい国づくりのきっかけも知りたいと思った。国学とかもきっかけになったのかなと思う。</p>
かかわる、	<p>◎願いや思いを実現するために考えたり、伝え合ったりできた。 例)・工夫してかっとうできた。 ・おしえてもらったり、おしえてあげたりできた。 ・ほかの人にもつたえたい。</p>	<p>学習計画とてらし合わせて調べていくことができた。 自分で見てさがしたり、人に聞いたりして調べることができた。 調べたことを友達と話し合い、たしかめ合うことができた。</p>	<p>学習計画とてらし合わせて、調べることおぼろげにさせて調べた。ねばり強く調べた。 資料の大切なところに気を付けて読み取れた。大切なことや出来事の関係が分かるようにノートに書いた。 調べたことを友だちと話し合い、確かめ合うことができた。</p>

<p>・みんな最初はばらばらだったけど、最後はいい意見がいっぱい出てきて、意見がいっぱいだといいい気持ちだと分かった。 ・班の全員で見つけた「すてき」を見てみたら、ものの「すてき」の方が多かったから、人の「すてき」を見付ける質問を作った。</p>	<p>・火事は風がある日などは、風でとなりの家などに火がうつって大きな火事になることが分かった。 ・自分で資料を見て調べることができた。学習計画の通りに調べられました。次はもう少し友達の見聞を聞けるようになりたい。 ・江戸の町の人ややさしいと思った。私だったら他の町には絶対に分けられないけど、江戸は分けてあげて本当にやさしいと思った。 ・神社の人がお祭りを始めたことが分かった。これからは祭りに参加したいと思う。</p>	<p>・教科書や資料集を見て調べることができた。実際にJAの方に話を聞くことができて良かった。 ・「いくつかの資料を使う」ができなかった。いろいろな種類の資料を使うことで新しく知ることが増えるから次はがんばりたい。 ・今までよりも粘り強く多くのことを調べ、分かりやすく人物ごとにまとめることができた。 ・明治で、今の政治の進め方と似ていることが生まれた。新政府ができなかったら今の日本はどんなことになっているのだろう。 ・自分で教科書を見て調べることができた。みんなが調べたことを聞いて確かめたい。</p>
低学年 ²	中学年 ²	高学年 ²
<p>◎自分の良さや気づいたり、成長を感じたりできた。 例)・すきなことやとくいなことを見つげられた。 ・〇〇ができるようになった。 ・つぎは〇〇したい。</p>	<p>まとめる、 学んだことを次の学習や生活に生かせよう！生かしていきたい！</p>	<p>キーワードや「つまり」や「例えば」という言葉やうまく使って、学習問題を解決することができた。 学んだことを次の学習や生活に生かすことができそう！または生かしていきたい！</p>
<p>・自分がこんなすごい作品を作れると思わなかった。自分がこんな成長しているって分らなかった。 ・(探検を終えて) 多分お店の人ももっと仲良くなれたかもしれない。</p>	<p>・ほくは、この学習をして自分も地域の一人だと分かったから、火事を防ぐためにコンセントのほりこりをとるなど、火事を出さないように工夫したい。 ・ずっと大切にされてきたものは、自分たちが大人になっても受け継いでいきたいと思う。 ・今回は、地震について調べて関係図に書いてまとめた。今度は別の自然災害を調べたいと思った。関係図はもう少しうまくいかなかったから、次はうまくいきたい。</p>	<p>・私は、朝ご飯はパンを食べていたけど米の消費量が減っていることを学び、もっと米を食べようと思った。 ・外国に負けない国づくりを目指して急激に進歩していった日本は、きつとぬけていたこともあったのではないかとと思う。 ・学習したこととのつながりや現代とのつながりや考えるようにした。室何回か時代を学んで違いや特長を比べやすくなったから次にいかしたい。</p>

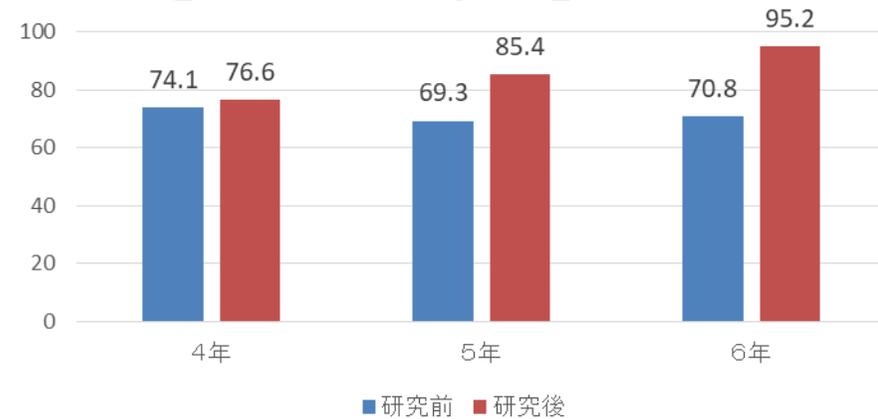
主体的に学習に取り組む態度の育成方法

児童アンケートの分析

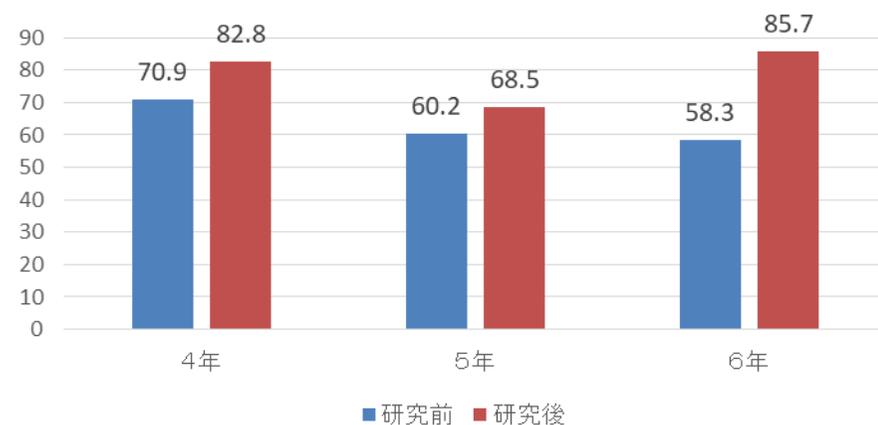
自分で資料を集めて
調べることができる



学習の計画を立てたり解決の見通しをもったりして学習を進めている



学習がうまく進んでいるか自分で
チェックしながら調べたりしている。



全国平均を上回り、研究実践
前から最大22ポイント向上

研究実践前から向上
最大27ポイント向上

ふりかえりカードと学び方カードの活用を通して



- 児童や教師の問題解決的な学び方の自覚が高まった。
- 記述を分析することで、教師が具体的な児童の姿を捉えることができた。
- カードの活用を学年で共有していく必要がある。

問題解決の学び方を教師と児童が自覚し、計画的に振り返りを位置付けて学習展開することが重要

研究のまとめ

社会的事象の見方・考え方を働かせて
学習問題を協働的に追究する児童

社会科の授業づくりのステップ

教師の適切な指導

指導と評価の
一体化



教師と児童による
次の学びに生かす振り返りの設定

単元の適切な評価活動の設定

児童の考えを深め・広げる
協働的な学習活動の設定

児童の思考の流れに即して
問いの連続性を図った問題解決の展開案

視点・問い・知識・資料から
指導内容を明確にした教材研究による授業構想



児童の
主体的
な学び
の保障